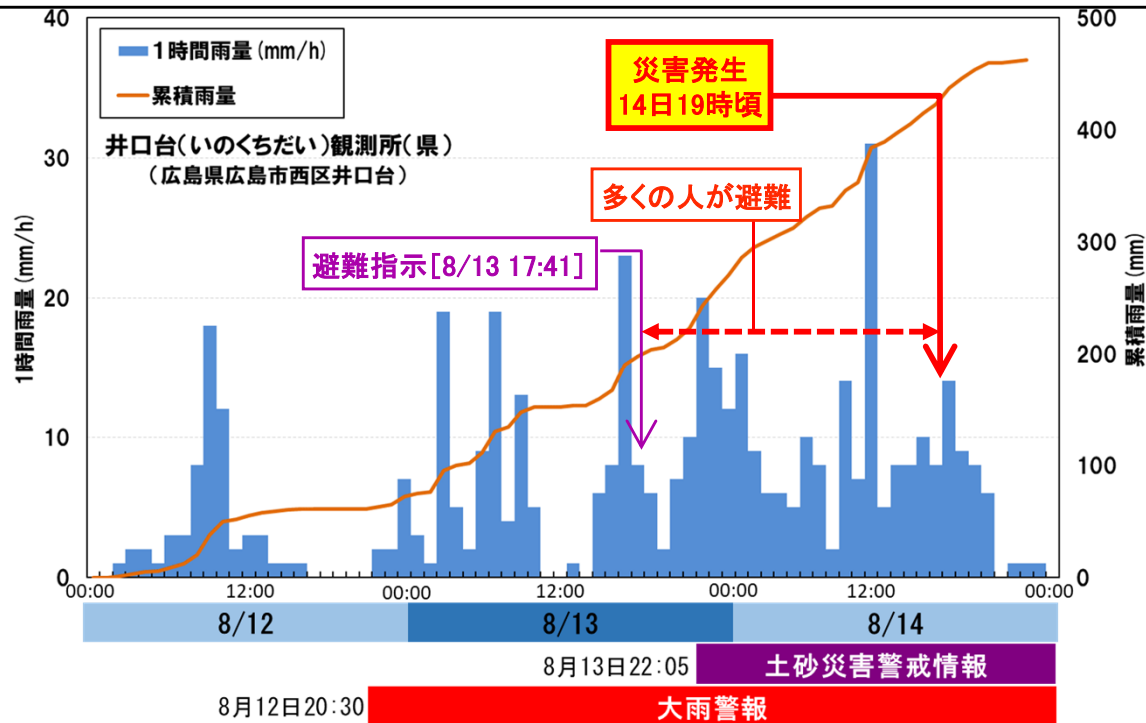
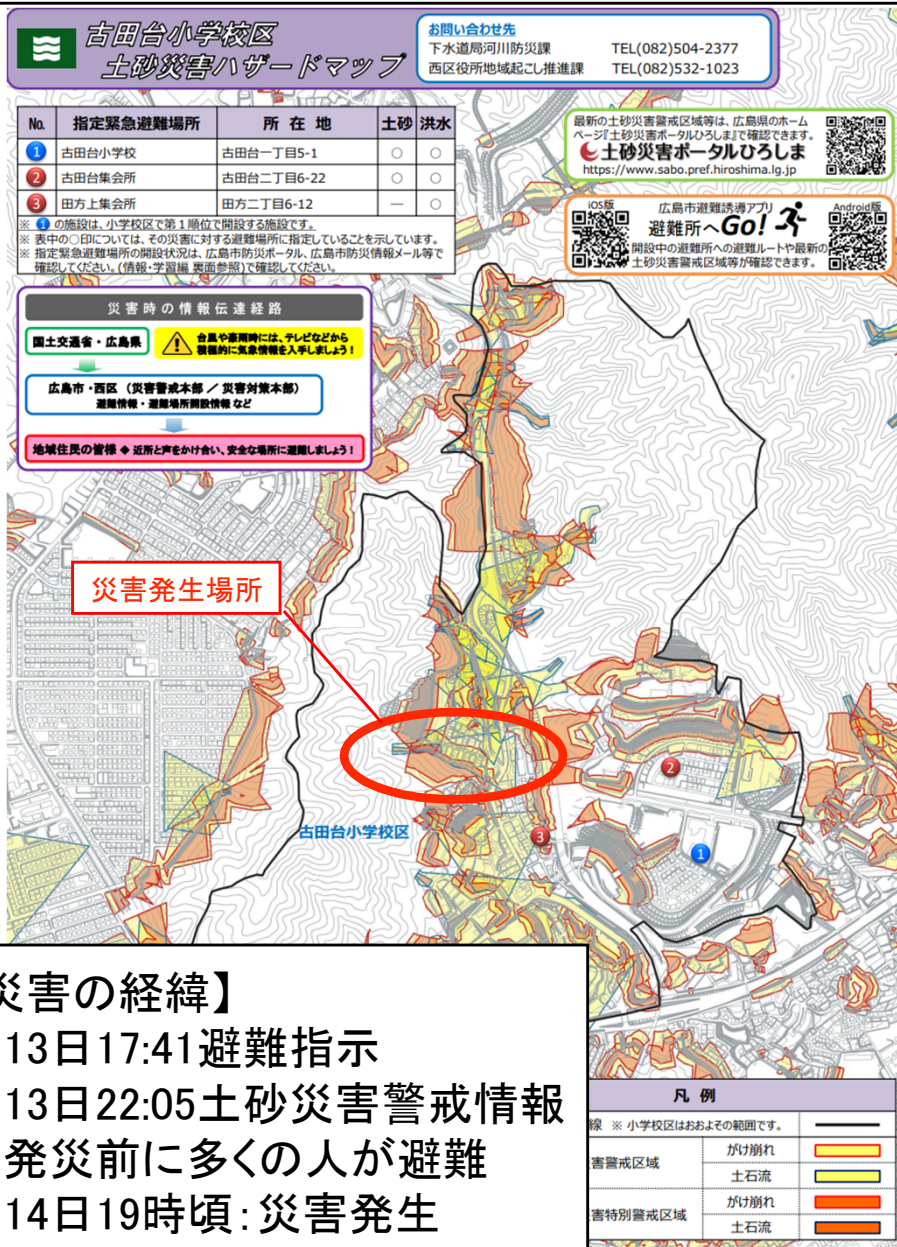


- 広島市西区田方地区で複数の民家が巻き込まれる土砂災害が発生。
- 地域住民は、避難所へ事前に避難していた人が多く、人的被害はなかった。

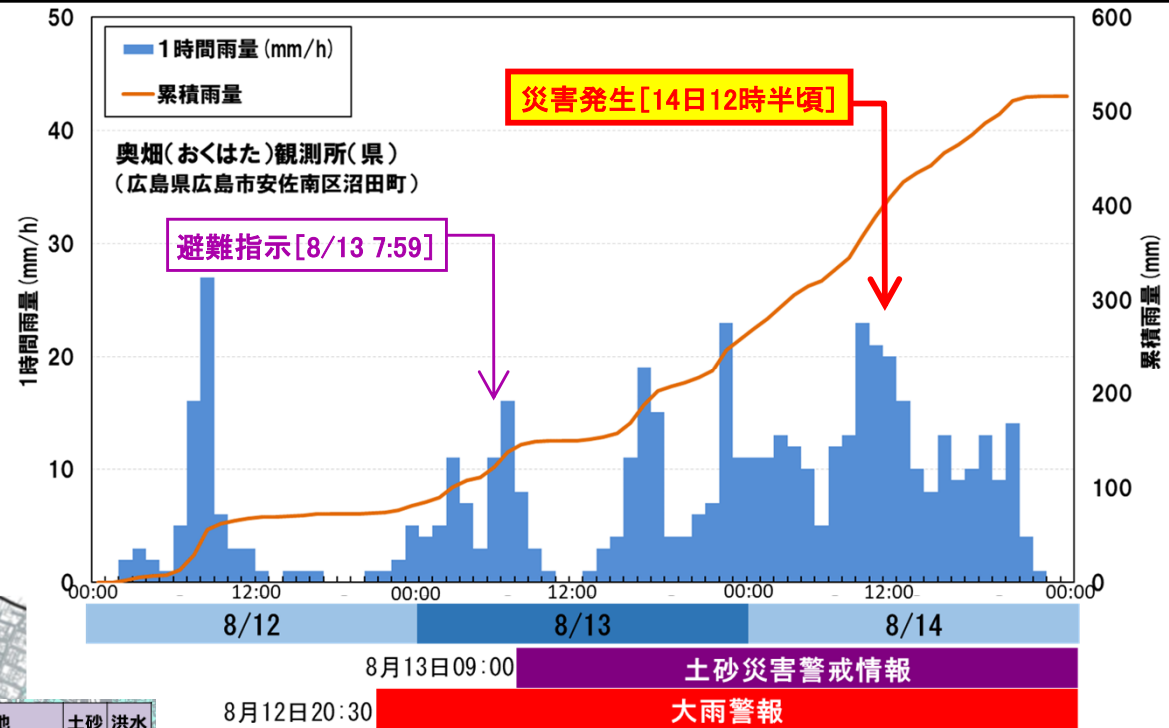
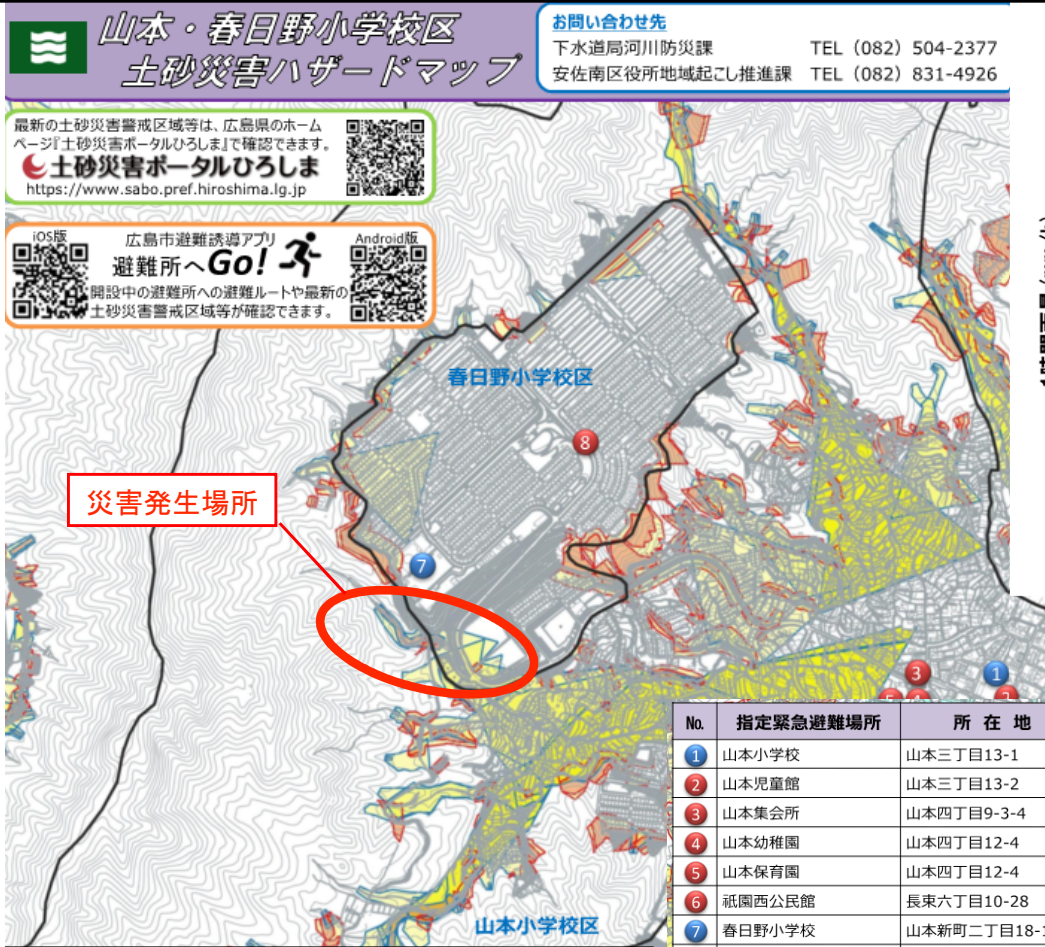


【災害の経緯】

- 13日17:41避難指示
- 13日22:05土砂災害警戒情報
- 発災前に多くの人が避難
- 14日19時頃:災害発生

事前の避難により難を逃れた事例(広島県広島市安佐南区山本)

- 広島市安佐南区山本地区で、民家が巻き込まれる土砂災害が発生。
- 立退き避難に遅れた場合や困難になった場合の次善の策として、自宅2階へ垂直避難を行ったことにより、人的被害を免れた。



No.	指定緊急避難場所	所在地	土砂	洪水
1	山本小学校	山本三丁目13-1	○	○
2	山本児童館	山本三丁目13-2	○	○
3	山本集会所	山本四丁目9-3-4	○	○
4	山本幼稚園	山本四丁目12-4	○	○
5	山本保育園	山本四丁目12-4	○	○
6	祇園西公民館	長東六丁目10-28	○	○
7	春日野小学校	山本新町二丁目18-1	○	○
8	春日野集会所	山本新町三丁目23-34	○	○

※ No.1、No.7の施設は、それぞれの小学校区で第1順位に開設する 指定緊急避難場所です。
 ※ 表中の○印については、その災害に対する避難場所に指定していることを示しています。
 ※ 指定緊急避難場所の開設状況は、広島市防災ポータル、広島市防災情報メール等で確認してください。(情報・学習編 裏面参照)で確認してください。

- 【災害の経緯】**
- 13日07:59避難指示
 - 13日09:00土砂災害警戒情報
 - 発災前に自宅2階へ避難
 - 14日12時半頃:災害発生



事前の避難により難を逃れた事例(広島県広島市安佐南区伴中央)

- 広島市安佐南区伴中央地区で、民家が巻き込まれる土砂災害が発生。
- 住民は、事前に避難しており、人的被害はなかった。

伴小学校区(南部) 土砂災害ハザードマップ

お問い合わせ先
下水道局河川防災課 TEL(082)504-2377
安佐南区役所地域こし推進課 TEL(082)831-4926

No.	指定緊急避難場所	所在地	土砂	洪水
1	安佐南区スポ-ツセンター	伴東三丁目13-16	○	○
2	伴福祉センター	伴西二丁目1-17	○	○
3	広島工業大学沼田校舎	伴北六丁目4104-2	○	○
4	下伴集会所	伴東三丁目6-1	○	○
5	沼田公民館	伴東七丁目64-8	○	○
6	沼田保育園	伴東七丁目63-9	○	○
7	瀬戸集会所	伴中央三丁目2076-3	○	○
8	椎原集会所	伴北五丁目2922-1	○	○
9	伴中央集会所	伴中央二丁目5-80	○	○
10	伴小学校	伴中央一丁目7-2	—	○
11	伴中学校	伴中央一丁目7-1	—	○
12	伴児童館	伴中央一丁目7-2	—	○
13	奥畑集会所	伴西五丁目1126	—	○
14	細坂集会所	伴東四丁目32-50	—	○
15	大下集会所	伴北六丁目9935-2	—	○
16	三城田集会所	伴中央二丁目11-12	—	○

※ No.1の施設は、小学校区で第1順位に開設する指定緊急避難場所です。
※ 表中の○印については、その災害に対する避難場所に指定していることを示しています。
※ 指定緊急避難場所の開設状況は、広島市防災ポータル、広島市防災情報メール等で確認してください。(情報・学習編 裏面参照)で確認してください。

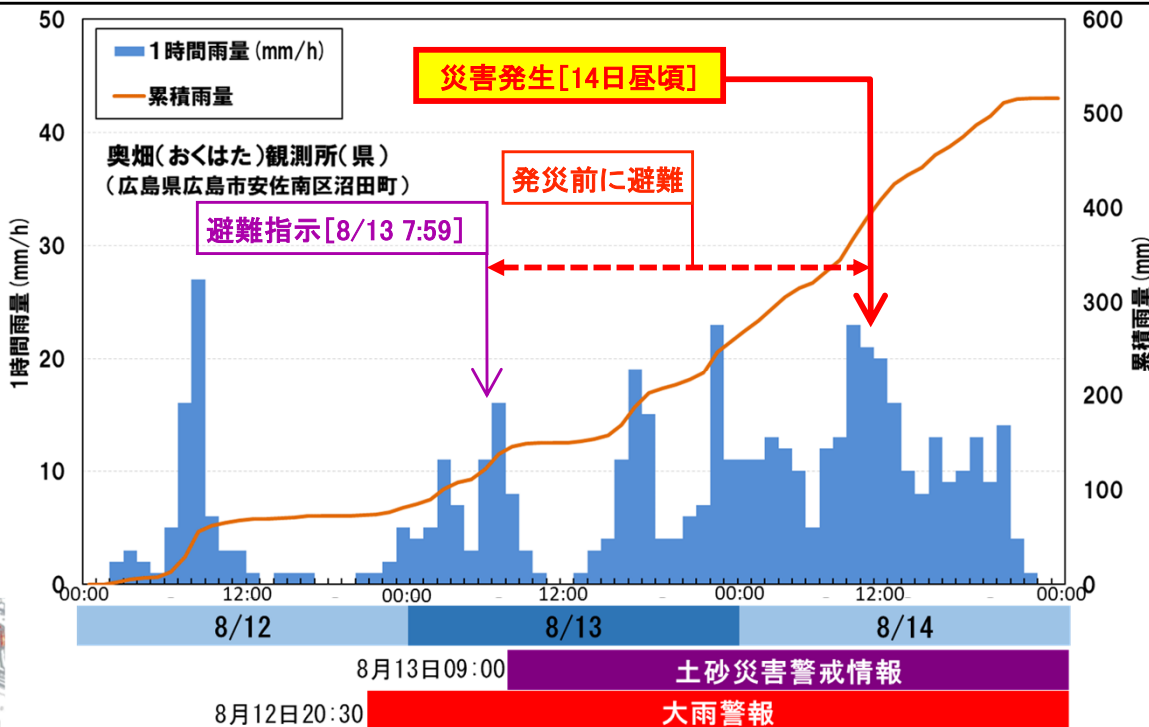
最新の土砂災害警戒区域等は、広島県のホームページ「土砂災害ポータルひろしま」で確認できます。
<https://www.sabo.pref.hiroshima.lg.jp>

OS版 広島市避難誘導アプリ 避難所へGo! 開設中の避難所への避難ルートや最新の土砂災害警戒区域等が確認できます。

凡例

小学校区境界線	小学校区はおおよその範囲です。
土砂災害警戒区域	がけ崩れ
土砂	土石流

災害時の情報伝達経路
国土交通省・広島県 台風や大雨時には、テレビなどから積極的に気象情報を入手しましょう!
広島市・安佐南区(災害警戒本部/災害対策本部) 避難情報・避難場所開設情報など
会い、安全な場所に避難しましょう!

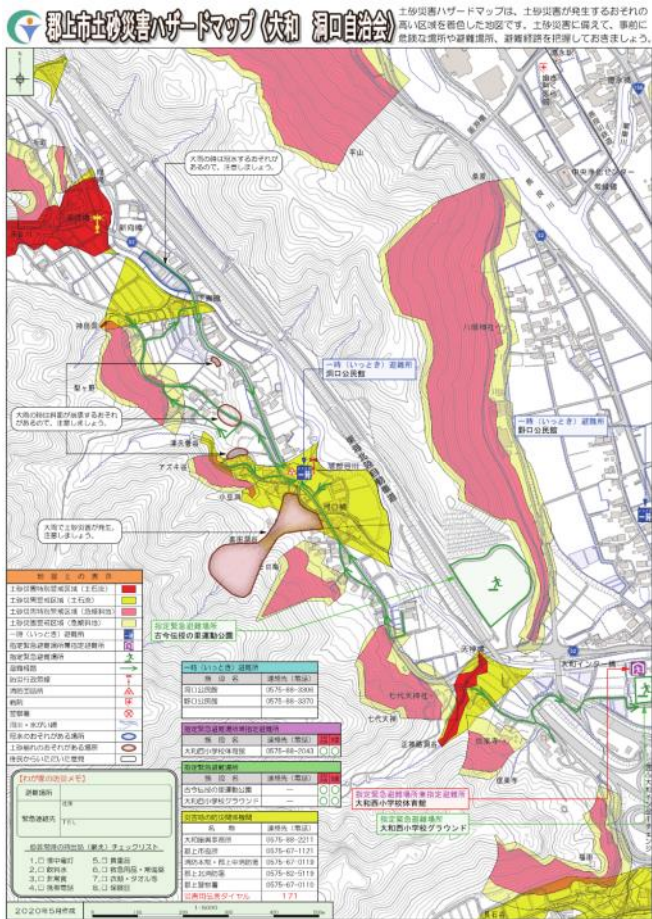


【災害の経緯】

- 13日07:59避難指示
- 13日09:00土砂災害警戒情報
- 発災前に避難
- 14日昼頃:災害発生

独自の避難基準・事前の避難事例(岐阜県郡上市大和町)

- 岐阜県郡上市大和町島・奥田洞谷地区では、令和2年7月に土砂崩れが発生しましたが、住民は全員避難して無事でした。
- この地域では、自治会長を中心に住民同士がSNSを活用してグループを作り、大雨に関する情報を共有しています。注意を呼びかけるだけでなく、避難を終えると報告し合っています。
- また、避難指示の基準を独自に設けており、雨量基準を超えるとサイレンが鳴り、黄色のランプが点灯します。それに加え土石流センサーが破断するとサイレンが鳴り、赤色のランプが点灯することで住民に避難を呼びかけを行っています。
- 令和3年8月の大雨でも、8月13日午後3時過ぎにサイレンがなり、黄色ランプが点灯。その後、15分ほどの間に、住民が車などで速やかに親戚の家などに避難していく様子が確認されました。



【設置したサイレン】

【SNSによる避難情報の共有・確認】



○長野県茅野市において、複数の民家が巻き込まれる土石流災害が発生。
 ○地域では例年、避難訓練を実施し、災害への意識を高めていたことに加え、避難指示発令後、防災無線により避難を呼び掛けたり、市消防団員等が住民に直接声を掛けて回り、住民の多くが避難して人的被害はなかった。

【土砂災害警戒区域と写真位置】

